指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成20年度
事業者名	事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校代表者名 理事長 佐藤 初雄所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日~平成21年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部こども青少年部青少年育成課

2 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 22,170 ②年間延べ利用団体数 590団体 人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 22,250,000 - その他収入 2,902,710 合計 25,152,710 2 支出 人件費・賃金 16,356,659 光熱水費 1,321,242 委託費 3,310,230 消耗品費 1,792,481 - その他経費 1,469,280 合計 24,249,892 3 差引 902,818
サービス向上の取組	利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを提供するなど、野外活動の情報センターとしての機能充実が図られ、専門性が十分に発揮されている。

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点		
利用	自主事業計画	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4		
	事業成果	予定していた事業が実施されているか	5	4	4		
者満		計画的に行事等が実施されているか	Э				
足度	(評価の理由) 既存の事業に工夫を加え、利用者の拡大を図るなどの事業展開を実施しているとともに、利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを提供するなど、野外活動の情報センターとしての機能充実が図られ、専門性が十分に発揮されている。						
	適切な金銭管理・ 会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3		
収		計画に基づく適切な収入が確保されているか	-	0	3		
支計	効率的・効果的な	計画に基づく適切な支出がなされているか	5	3			
画・	支出	支出に見合う効果が得られているか	_	3	3		
実績		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか	5				
ЛУЯ	(評価の理由)						
サー	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4		
		広報の方法に工夫が見られるか	J				
ビス	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか		4	8		
向上及び業務改善	学校及び行政機 関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか		4	8		
	71 m +k	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6		
	利用者ニーズ	把握したニーズが事業運営へ反映されているか	10				
		「 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					

組織管理体	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか		3	6	
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか	10	3	Ü	
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4	
	個人情報等の取 扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備 され、適切な運用が為されているか		3	3	
制	(評価の理由) キャンプやレクリエーション指導をはじめとする野外活動の専門性をより高める研修を随時実施している。					
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切 に実施しているか	5	3	3	
適正な業務実施	利用者の安全確 保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3	
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか	J			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3	
		緊急時のマニュアル等が整備されているか	Э	3	3	
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	-	0	3	
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5 3		3	
	(評価の理由)					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	С
-------	----	-------	---

注)評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A:90点以上 B:80点以上90点未满 C:60点以上80点未満 D:40点以上60点未満 E:40点未満

A:特に優れている B:優れている C:適正である D:改善が必要である E:問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページやタウン誌などの各種の媒体を活用するなど広報の充実に努め、利用団体の増加が図られた。 また、学校の教育課程に沿うようなプログラムを立てて、学校との連携推進を図る取組を行っている。さらに、初めての利用者にも分かりやすく施設説明するためのDVDを作成し、活用している。 野外活動に係る専門性を有する職員が、さらにその資質の向上に努める研修を随時実施している。

6	李年度の3	1. 整数行	(告押雷骨)	に対する	、

指定管理期間最終年度のため、指導事項なし。